



ザ・ラタ Vol.3
掲載内容

- ・第34回日本アイバンク運動推進協議会全国大会
- ・第50回東洋・東南アジアフォーラム
- ・2011～'12年度 YCE(夏季・冬季)活動報告
- ・レオ・ライオネスクラブ活動報告

1頁
2頁
3頁～11頁
12頁～13頁

【第34回日本アイバンク運動推進協議会全国大会】

10月27日 第34回日本アイバンク運動推進協議会全国大会を沖縄県那覇市で開催した。日本アイバンク運動推進協議会最高顧問で沼津LCの勸山弘Lが1960年来からの運動の推移と、照屋明子眼科医が「海外ドナー」に依存している現状を語り、ドナー登録を呼びかけた。全国より300名が参加した。



役員あいさつ 地区ガバナー L.識名 安信



祝辞 元国際理事 L.不老 安正



L. 勸山 弘 (92才) 献眼を熱く語った



聞き入るLCメンバー



(沖縄タイムス 2011年10月27日掲載)



(琉球新報 2011年10月23日掲載)



【第50回東洋・東南アジアフォーラム】

11月24日～27日の4日間、フィリピンのパサイ市で開催された。我国から2,300余のライオンが参加し、当377-D地区からもL識名ガバナー他多くの会員がフォーラムを楽しんだ。



会場メインステージ風景



MD337のタベでお礼のあいさつを述べる
ウインクン・タム国際会長



次回福岡フォーラムへの
参加をよびかける不老組織委員長



MD337のタベにて
挨拶する識名ガバナー



【2011～'12年度 YCE(夏季・冬季)活動報告】

夏季来日学生(1名)



氏名
李 春怡(LEE CHUN-I)【21才】
来日先 台湾
ホストC
伊佐ライオンズクラブ



冬季来日学生(3名)



氏名
Lim Yi Kai 【18才】
来日先 マレーシア
ホストC
種子島ライオンズクラブ



夏季派遣学生(5)



氏名
澤岷 理沙【21才】
派遣先 マレーシア
ホストC
沖縄ライオンズクラブ



氏名
Wong Sher Yi 【19才】
来日先 マレーシア
ホストC
指宿ライオンズクラブ



氏名
上村 直生【16才】
派遣先 マレーシア・シンガポール
ホストC
鹿児島さつまライオンズクラブ



氏名
Vanessa Eu Li Teng【20才】
来日先 マレーシア
ホストC
北谷ライオンズクラブ
沖縄ライオンズクラブ



冬季派遣学生(1名)



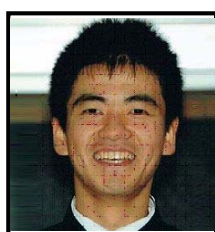
氏名
西村 恭平【16才】
派遣先 マレーシア
ホストC
種子島ライオンズクラブ



氏名
黒木 将汰【18才】
派遣先 イタリア
ホストC
鹿児島南ライオンズクラブ



氏名
前田 綾【20才】
派遣先 マレーシア
ホストC
川内ライオンズクラブ



氏名
西 瑠也【17才】
派遣先 シンガポール・マレーシア
ホストC
鹿屋ライオンズクラブ



【夏季来日生 李 春怡(リ・チュンリ) 台湾 ホストCL 伊佐LC】



ホストクラブ例会にて



お迎え 新幹線しんみなまた駅にて



ホストのお父さんとPC使って意思疎通

【お礼のメール】

謝辞 李 春怡

送件者: "李 春怡" <ahar200@hotmail.com>
宛先: <info@shyematsu.com>
送信日時: 2011年8月19日 8:44
件名: 春

日本語訳



Sorry, I still can't write in Japanese. If you can't understand what I wrote about, maybe you can see my Chinese. (抱歉我還是不會用日文寫信給你們，如果你們看不懂我的意思，或許可以看看後面的漢字)

It has been 1 week since I left Japan. Everything in Taiwan is good but I still miss the days in Japan. (距離我離開日本已經一個禮拜了，在台灣的所有事情都很好但是我還是想念在日本的生活)

First, I want to say "thank you" to all of you, no matter your family or your workers in the hotel, thank you for caring me. In the 21 days I really had good time and a wonderful experience, very special. (首先，我想說對所有人說聲謝謝，不論是家人還是旅館的工作人員，謝謝你們21天的照顧，在這21天裡面，我真的很快的很愉快，並擁有一個很美好的經驗，非常特別)

thank you to father, you are so busy, but you still drove me out and stayed with me, also arranged the schedule for me, though maybe there were some problems of communication between you and me, you still tried hard to talk with me. I am so thankful. (謝謝爸爸，雖然你很忙但是你還是會開車帶我出去並且陪著我，安排我在日本的行程，雖然或許我們之間溝通有點小問題，但你還是很努力的跟我說話，我真的很感謝)

Thank you for mother. Your smile always warm my heart. Let me feel so sweet. And thank you for drove me from 伊佐市 to 鹿児島市. It's a long distance and it was also a rainy day. You must be tired when you were driving. You also often took much food for me to eat. It's so delicious. (謝謝媽媽，你的笑容總是溫暖我的心，謝謝你開車載我從伊佐市到鹿児島市，那是一段很遠的距離，而且那天剛好下雨，你一定開的很累，你也常常拿東西給我吃，都非常好吃)

Thank you for yohai and atsuko, the letter you wrote to me is very touching. And I really cried when I read the letter. It's so sweet. Yohai is so humor. You always make me smile. And Atsuko is so sweet and tender. Also Rio is so cute, she will be a pretty girl when she grows up. Thank you for you stayed with me and tried hard to chat with me and made me didn't feel bored. The day I was invited to your home was great. Thank for inviting me. (謝謝yohai和atsuko，你們寫給我的信真的很感人，在讀信的時候我真的哭了。Yohai很幽默，常常逗我笑，atsuko/SPAN>很貼心很溫柔，rio很可愛，長大後一定會變成漂亮的女孩，謝謝你們照顧我，努力跟 我聊天讓我不會覺得無聊，被邀請去你們家作客那天很棒，謝謝你們邀請我)

The days in Japan are really great. Most important is because you. I am so lucky to stay in your home, because you all are so kind. Though I can't speak Japanese, you didn't hate me because of that. You are still kind to me. I'm really happy to meet you in Japan. (在日本的每天都非常好，最重要的原因因為你們，我也很幸運的住在你們家，因為你們都非常的善良，雖然我不會說日文，但你們也沒有因此討厭我，你們都 著對我很好，我很高興可以在日本遇到你們)

And also meet many people in your hotel, and they are so nice too. If you have chance, would you please say "thank you" to them for me. (而且我也在旅館認識很多人，他們也對我很好，如果有機會，可以幫我跟他們說聲謝謝嗎?)

Finally, it's really hard to say good-bye. I will mail you my information. And hope someday I can see you again in Japan or in Taiwan. I will learn Japanese and maybe in the next time we meet, can talk in Japanese. Most important is that please take good care of yourselves. I'm expecting for the next time we meet. (最後，很難說再見，我會繼續給你們我的消息，並且希望我可以再見到你們，不管在日本還是台灣，我也會去學日語，或許我們下次見面時我會講日語了，最重要的是要好好照顧自己的身體，我期待著我們下次見面)

春怡 2011.8.12

日本語で書けなくてごめんなさい。

もし、英語で解らなければと思い中国語でも書きました。私が帰国してから1週間経ちました。今、日本での生活が懐かしいです。

まず最初に、あなたの家族、ホテルの従業員の皆様に有難うと言いたいです。

お父さんありがとう、お父さんは大変忙しいのに、私を色々な所に連れて行ったり、色々な企画をして下さいました。私とのコミュニケーションが取れない時、お父さんは一生懸命私の話を理解しようと何回も会話してくれて嬉しかったです。

お母さんありがとう、お母さんの笑顔は私をいつも暖かくしてくれました。鹿児島市に連れて行って来てありがとうございます。雨模様で遠くまでの運転で疲れたでしょう。また、おいしい食事にたくさん連れて行って来てありがとうございます。

洋兵と敦子さんありがとう。敦子さんは優しく親切でした。敦子さんのくれた優しい手紙を読んで私は胸を打ち泣きました！洋兵はユーモアに溢れ、いつも私を笑わせてくれました。梨桜はかわいくて大きくなったのもっとかわいくなるでしょう。

日本語の話せない私を受け入れホームステイさせてくれ、あなたの家族と一緒に色々な貴重な体験をさせて来てありがとうございます。

～中略～

最後に、これからも時々メールします。次の日本か台湾での再会を楽しみに、私も日本語を勉強し、再会の時は日本語で会話できる様頑張ります。

皆様、体に気をつけてお過ごし下さい。再会を楽しみにしています。

春怡 2011.8.12



【夏季派遣生 澤岷 理沙 派遣先 マレーシア ホストCL 沖縄LC】



ホストファミリーと一緒に



YEキャンプに参加した仲間と

私は、8月3日から17日までの2週間、マレーシアの首都であるクアラルンプールにホームステイしました。出発当日はまだマレーシアに行くという実感はありませんでしたが、クアラルンプール空港について現地のライオンズの方々やホストファミリーの顔を見たときには、マレーシアに着いたんだと感じました。とりあえず、それからというもの驚きや発見ばかりでした。私がマレーシアに着いて最初に驚いたのは、ホストファミリーの親切さでした。ホストファミリーは本当に信じられないほど親切でした。だから私はホストの方とすぐに打ち解けることができました。

クアラルンプールは想像していたよりもはるかに都市で、沖縄育ちである私にとって車から見える景色が新鮮でした。幅広な車道、高層ビル、巨大な広告など目に入ってくる都市風景に圧倒されました。ショッピングセンターは広すぎて、何回も買い物に連れて行ってもらったにも関わらず全部の店舗を見回れたことは一度もありません。

6日から3泊4日のYEキャンプに参加しました。キャンプは毎年違う場所で行われるそうです。今回はEagle Streetというキャンプ施設でした。そこでは、9つのグループにわかれて様々なアクティビティーをしました。例えばマレーシアの遊びや自国の紹介などです。日本人YEがほとんどでしたが、フィンランド、スウェーデン、イタリア、フランスからのYEもいました。日本からの参加者が40人前後であるのに対して、欧米からの参加者は7人ほどだったのですが、彼らは積極的に行動力があって自己主張に長けていて存在感がありました。日本人は彼らのような積極性に多少かけるところもありましたが、協調性、団結力があつたと思います。交流のなかでみえてくる国民性の発見は大切なことだと思います。違う観点から自己を見つめなおすことができるきっかけとなるからです。このキャンプでは様々な国の人とふれあい、異文化交流できるいい機会でした。 ～中略～

言語はマレーシア語、中国語、英語で日常的には主に中国語をはなしていました。英語は独特なイントネーションであつたので、聞き取るのが少し難しかったです。しかし、何を言っているのかわからなくても意思疎通はできてしまうもので、何も問題はありませんでした。マレーシア語を日常的に使っている場面はあまりありませんでしたが、発音しやすく、短文で意味をなすものが多いので私にとっては興味深い言語でした。マレーシアでは車線を50メートルほど進むたびにAWASという言葉を目にすることができます。危険という意味なのですが、そこに言葉からみる国民性がありました。なぜならほとんどの車がハイスピードで荒い運転だったからです。歩行者優先ではなく車優先社会であつたのには驚きました。

私の場合、日中は近い地区に住むYEの人と一緒に行動しました。ショッピングセンターや寺、中華街やハイランドという遊園地にも連れて行ってもらいました。夜はナイトマーケットにも行きました。夜は家で妹や弟と一緒にしゃべりをしたり、ビデオ観賞をしたり、ネットなどをして遊びました。まず私が会った人たちは100%、Facebookをしていました。私はネットをあまりしないのでつくりたくなかったのですが、弟に無理やりアカウントをつくらされました。興味はなかったのですが、今思うとつくってよかったです。Facebookをとおして今でも簡単に彼らと情報交換しあえるからです。だから、遠くにいても離れてはいない、と感じることができます。

ある日にはホストシスターの高校にも訪問したのですが、皆とてもフレンドリーでした。日本が好きな人が多かつたのでいろいろ話しました。彼らは、いきなりの外国人の訪問にも関わらず、詳しく自らの国について紹介し始めました。私は沖縄のことが大好きなのでこの機会に、多くの人に沖縄のことを紹介できてとても嬉しく思いました。しかし、自分の住むところについて彼らのように詳しく説明することには欠けてしまったので、今回を機に自分の課題としたいです。私はこの2週間で多くのことを学ぶことができました。言語はもちろんですが、それよりもマレーシアを、日本以外のアジアを、知ることができました。特に、その経験をホストファミリーと過ごすことで得られたのは、本当に良かったと思います。単に旅行して観光地をまわるだけでは得られない、本当の文化を彼らとの生活を通して学ぶことができたからです。しかし、ホストファミリーと過ごすというのはそう簡単にできるものではありません。ですから、私はこの機会を与えてくださったライオンズクラブの皆さま、ホストファミリー、サポートしていただいた方々にとても感謝しています。

この機会を通した経験は私にとって本当に濃いものとなりました。今回得た課題を頭に入れつつさらに異文化交流に関わって、日本や沖縄のことを発信していきたいと思っています。このような機会を与えてくださった皆様にもう一度感謝申し上げます。

ありがとうございました。



【夏季派遣生 上村 直生 派遣先 マレーシア・シンガポール ホストCL 鹿児島さつまLC】



暖かく迎えてくれたホストファミリーと



YCのキャンプで皆と歓談

この夏、Lions Youth Exchange studentとして、マレーシア・シンガポールに行かせていただきました。

出発前は、「ホストファミリーの方と上手くコミュニケーションを取れるだろうか?」「食べ物は大丈夫だろうか?」など、多くの不安がありましたが、1ヶ月のホームステイも終わり、帰国の頃になると「まだ日本には帰りたくない」と思っ

てしまうほど充実した楽しい日々を過ごすことができました。

マレーシアでは、4つの家庭にお世話になりました。どの家庭にも年の近いホストブラザー、ホストシスターがいて、

気さくに話しかけてきてくれたため、すぐにホストファミリーと打ち解けることができました。また、マレーシアで日常的に使われているマレー語・中国語も教えてもらい、英語だけでなく、マレー語・中国語も少し話することができるようになり

ました。

シンガポールのホストシスターは、日本語がペラペラで驚きました。

ホストマザーが、以前日本に留学しており、教えてもらったと言っていました。日本への関心が強く、彼女の部屋には日本語で書かれたマンガ、小説が置いてありました。11月にYE生として来日すると言っていたので、機会があれば是非会いたいです。

シンガポールには、数多くの大規模なショッピングモールがあり、そのにぎわいぶりに圧倒されました。

どの家庭でも、その土地、その地方の伝統料理のレストラン、観光地、自然公園などに連れて行ってもらいました。

このように、数多くの楽しく貴重な経験をさせていただきましたが、一番心に残っていることは、地元の同年代の人たちとの交流です。5つの家庭それぞれで地域の学校に連れて行ってもらい、学校案内やオリエンテーションをしてもらいました。特に、一軒目のテノムという町では、レオクラブのメンバーがパーティを主催し、一緒にゲームをしたり、食事を楽しんだりして、親睦を深め、楽しい時間を過ごしました。

交流の中で他に印象深かったことは、学校の授業です。マレーシアには、中国系向けとマレーシア向けの2種類の公立高校があり、私は中国系の学校で授業を受ける機会がありました。地理と数学の授業を受けましたが、話していることは全てが中国語で全く分かりませんでした。しかし、日本で使われている漢字と全く同じ字が同じ意味で使われていることもあり、本や新聞などは、少し理解することができました。

シンガポールでは、平日、毎日午前中に学校へ行きました。私の行った学校では、数学、英語などの他に、中国語更には雑誌や新聞の記事の書き方、カメラの使い方など、ユニークな科目が多く、どれも楽しむことができました。

また、生徒会の活動にも少し参加させてもらいました。「先生の日」というイベントの直前だったため、みんな忙しそうで、遅い日は夜11時まで学校に残ることもあるということでした。

マレーシア・シンガポールの学生と触れ合って一番感じたことは、自分達で積極的に行動しているということです。どちらかといえば受け身の日本の学生と大きく違っていました。見習わないといけないと思いました。

日本に帰ってきてから時間が経ちましたが、今でも彼らと連絡を取り続けており、また会う機会を作っていきたいと思います。

最後になりますが、このような素晴らしく貴重な経験をする機会を与えてくださった鹿児島さつまライオンズクラブの皆様方、本当にありがとうございました。この貴重な経験を、これからの自分の人生に生かしていけるよう努力していきたいと思います。



【夏季派遣生 西村 恭平 派遣先 マレーシア ホストCL 種子島LC】



ホストファミリーとバナーの交換



ショッピングセンターにて



二人でマレーシアのごあいさつ

今回僕は、8月3日～8月18日までの約2週間の間マレーシアに行ってきました。

1日目は福岡に1泊をして、2日目の朝、シンガポールへ6時間10分、乗り換えてクアラルンプールへその日の夜到着しました。

片道で4回、飛行機を乗り継ぐというなかなか経験することができないようなことも、経験することができました。

そして、自分のホストファミリーと対面した時、向こうから「はじめまして、よろしく」と、日本語で言われた時に、今まで背負っていた緊張感や不安が一気に抜けました。空港にはホストシスターとボーイフレンドが来ていて、なんと二人ともYEで日本に来たことがあったようなので少し日本語も伝わり、直ぐに安心しました。その日の夜は、市場へと行き、いろいろな露店を見ることができました。

3日目には、KLCCというツインタワーを見に行きました。少し遠くから見ただけで首を上げてしまうほどでした。どれくらいの大きさかと思って聞いてみると、180階だと言っていました。よく見れば、そのタワーの周りにもたくさんのビルがあり、マレーシアという国に自分が来ているんだなという、実感がそこでもかんじられました。その日の夜には、家にドリアンがあり、食べてみてと言われ、一口食べさせられました。

5日目からは、ライオンズキャンプが2泊3日で始まりました。6人ずつのグループに別れて、ダンスなどの出し物を考えて各グループごとに発表しあったりしていました。日本のダンスをすることになって、AKBを踊った時は、少し恥ずかしい反面、楽しかったです。キャンプを終えて、バスで市街地の広場まで戻ってくると、日本にいると思い込んで、自分の親が迎えに来ている、と思ってしまっていて、ふと目をやると、そうではなかったので、その瞬間だけなぜか気持ちが悪くなかったのをよく覚えています。

僕は短期派遣だったので、普通なら一家族だけのホストなはずなのですが、滞在10日目に住所一覧に載っている所とまったく違うところだと気づきました。しかもその家には、本当のホストシスターは居たんですが、他の人は、送ってきた写真に載っている人とまったく違って、その時は不思議に思いました。なぜ、こういうことに気づいたかという、この日、ホストシスターが「私の家に行こう」と行ったことでした。車で2時間ほど離れた所にある小さな街でした。どうやら「僕が暇すぎてうんざりしないために首都に住んでいる、ボーイフレンドの実家にホームステイさせていた」ということだったようです。本当のホストファミリーのところでは1泊だけしました。バイクに二人乗りをして、街並みを見て回ったりして、とても見ごたえのある街並みでした。声をかけてくれる人も多く、日本人だと知ると、「こんにちは！」とカタコトながらも、みんなが言ってくれたのが、すごい嬉しかったです。次の日には、ガンディングハイランドにも行きました。日本でいう東京ディズニーランドみたいなところで、ホストブラザーと、水上ボートに乗ったり、お化け屋敷に入ったり、観覧車に乗ったり、まず、ディズニーランドに行ったことがなかったのでとても楽しく感じました。その日の夕方、KLの家に戻る時に、ホストファミリーが泣いていて、田舎から首都に帰っている車の中で、自分も泣いてしまったのは今でも忘れられません。

滞在最後の夜には、KLタワーを見に行きました。400M以上の高さで聞いた時にはとてもビックリしました。高速エレベーターに乗って展望台にまで行く途中に耳が痛くなったこと、展望フロアから見たクアラルンプールの夜景、この光景は一生忘れられません。そしていよいよ出国の日、空港では名刺交換や記念撮影をするホストファミリー、飛行機の時間までホストファミリーとの別れを惜むYE生、イベントの企画などをしていた現地のレオクラブの人たち、などでいっぱいでした。さて、いよいよ出国の時間、出国ゲートの前で見送りに来ていたホストファミリーがあれほど泣かないからと言っておきながら、泣きだしたので、「絶対にまた来る」と言って、別れました。不思議なことに、この時僕は、泣くことはありませんでした。「また来ればいいじゃないか」という気持ちで頭の中はいっぱいだったのだと思います。

派遣の案内が最初来たときは不安もありましたが「言葉」という壁以外においては、非常に充実した生活を送ることができました。僕は、マレーシアという国に行き、さまざまな出会い、さまざまな経験、さまざまな別れ、誰もが簡単に経験できないようなことをさせていただけたと思っています。スポンサークラブ等に活動写真の提出をしたりしましたが、そこに写っているのはほんの一部に過ぎません。この17日間の出来事は、そのすべてを写真にも、言葉にも言い表すことが出来ないほど楽しいものでした。今回このような機会を与えて下さった、ライオンズクラブ、YCE関係者の方々に感謝いたします。今後は、この経験を生かしてレオクラブの活動、学校生活、将来等に役立てていけたらと思います。本当にありがとうございました。



【夏季派遣生 前田 綾 派遣先 マレーシア ホストCL 川内LC】



出発時皆さんに送られて(川内駅)



マラッカにて派遣生と



川内に冬季派遣で来たワンさんと



出国時、見送りのホストファミリーと

皆様こんばんは、川内レオクラブ所属、前田綾です。私は8月9日から18日の約一週間、YCE夏期派遣生としてマレーシアに行かせていただきました。大学のスケジュールの関係で現地で行われた派遣生のキャンプには参加できず残念でした。

しかし、マレーシアに着いてからほぼ毎日、ホストシスターのSze shimさんがいろいろな所に連れて行ってくださいました。マレーシアではインド系の人や中国系の人が多く、丁度イスラム教の断食月だったことや、マレーシアの独立記念日が近かったこともあり、宗教に関係した旗や国旗をいたるところで目にしました。箸の形やお風呂の入方、洗濯、交通ルールなど、たくさんのものであゆる場面で日本と違うと思わされることがあり、目にするもの全てが新鮮で、毎日がとても充実していました。お別れパーティーで、マレーシアの民族衣装を着てファッションショーをするということで、インドの民族衣装、サリーを作ってもらいました。これは私の宝物です。

去年、YCEの冬期派遣生として川内に来てくれたTan Wanyihさんとも再会しました。去年はレオクラブのメンバーで鹿児島を案内し、今回はマレーシアでWanさんが、私を案内してくれました。その時に、去年、日本で過ごした日々の事をや、ホストファミリーの須留原さん御一家のことをとても懐かしそうに話してくれて、嬉しく思いました。一日しか会えなかったのが残念でしたが、今度は日本かマレーシア、それか違う国で会おうという約束をしました。また会える日がとても楽しみです。

滞在中、Sze shimさんや現地で出会った人たちが、マレーシアの政治のこと、宗教のこと、学校のこと、祝日や祝い事にまつわる昔話など、興味深いことをたくさん教えてくれて、全く知らなかったマレーシアについて知ることができた気がします。彼らと交流していて、自然と、もっと積極的に物事に取り組んで、自国について理解し、伝えられるようになりたいと思うようになりました。また、毎日英語で会話していたので、楽しく、とても鍛えられました。

ホストファミリーは最初から最後まで優しく、本当に親切で、出国するとき心から寂しかったです。一週間があっという間に過ぎてしまいましたが、マレーシアでの日々は最高の思い出になりました。

今回、このような大変貴重な機会を与えてくださった川内ライオンズクラブの皆様、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



【夏季派遣生 西 瑠也 派遣先 シンガポール・マレーシア ホストCL 鹿屋LC】



到着時空港での歓迎



YEのキャンプの夕べにて



皆との楽しい交流

この度は、貴重な体験をする機会を与えていただき、ありがとうございました。今回、その報告させていただきます。

私は、7月21日～8月17日の期間、シンガポールおよびマレーシアに伺いました。この海外滞在期間中に、5つのホストファミリーにお世話になることになり、様々な体験を通して、言葉の違いもさることながら、生活様式などの文化の違いに驚かされる日々を送りました。また多くの方々とも知り合うことができ、友人もたくさんつくって帰国しました。ここで、私の海外滞在期間中の日記の一部を振り返りたいと思います。

- ・7月21日。シンガポールに到着後、ウェルカムパーティに参加。食事を頂いた。何を話しているか全く分からなかった。授業で話す英語とは明らかにイントネーションが異なっていたが、自分たちで話す英語は通じた。夜が真昼のように蒸し暑かった。緑茶は甘い。現地ではキク茶が主流。
- ・7月22日。食事は少しくせがあった。
- ・7月23日。学校では音楽の授業が多かった。
- ・7月24日。マレーシアのショッピングセンターやビーチのトイレにはティッシュがない。水だけ。肉料理が中心で、スパイスが効いているから水をよく飲む。ピザにパイナップルが入っていた。日本のことについて説明することがかなり難しかった。
- ・7月25日。マレーシアでは第1朝食、第2朝食、昼食、ティータイム、夕食、サパーの6食。手羽先、手羽元の料理(揚げ物)が定番。
- ・7月26日。COW注意の標識がある。今日で第1ホームスティが終了した。
- ・7月27日。カカオは5年間実をつけずに栽培し、その後、実に10年かけて収穫する。
- ・7月29日。マレーシアの学生は日本のアニメが好きで、日本語の挨拶とお礼、別れの言葉は話せる。プールは徐々に深くなっていく(最大約4～5m)
- ・7月31日。サピ島の水はきれいだった。バナナボートは過激であった。今日で第2ホームスティが終了した。
- ・8月3日。大学はパソコンがかなり多くあった。蚊を寄せつけない草(花)があった。
- ・8月4日。散髪代は約450円。
- ・8月5日。図書館の本の一部は、現地レオクラブがリサイクル活動を行って生まれたものもある。植林活動を行っている。タツノオトシゴがいたところにあるが有名ではない。今日で第3ホームスティが終了するが、これまでのなかでMiriが一番よかった。
- ・8月6日。屋台にもドリアンがある。
- ・8月8日。イスラム教徒の人は、この一ヶ月、食事(水)を日中摂ることはできない。バナナは、揚げ物専用のものもある。ザクロは種も食べる。
- ・8月11日。今日で第4ホームスティが終了。
- ・8月12日。ドリアンアイスも厳しい。タコがすごい。キーホルダーが安い。
- ・8月13日。ウーロン茶だけがノンシュガー。プリクラは約1000円～1200円(日本製)。
- ・8月15日。学校は、毎日終わる時間が決まっていない。1コマ1時間の授業で、毎日何コマになるか異なる。Public schoolだが、私立並みのきれいさ。シンガポールの人は言語を最低3つは話せる(英語、中国語、カントン語)。多い人はさらに3つ(日本語、北京語、マレー語)。
- ・8月17日。トイレはお金が必要。
- ・8月18日。帰途。

私は生まれて初めての海外ということもあり、「憧れ」を抱いて今回のYCE派遣に参加をしました。確かにきれいだな、素晴らしいなと思うこともありましたが、一方で、日記に記したように、不便だな、大変だなと感じることも多く、改めてそれぞれの国の違いやよさを実感することができたような気がします。

最後に、この期間、様々なボランティア活動も拝見・参加することができ、今後の私たちの活動に十分参考になるものであったのは当然のこと、大変刺激を頂いてまいりました。私の高校生活は残り半年余りですが、今回学ばせていただいたことをもとに、勉強やスポーツ、ボランティア活動などに精一杯頑張っていきたいと思います。



【冬季来日生 ホストクラブ訪問&歓迎会】



Lim君 種子島LC訪問



Wongさんの指宿LC歓迎会



Vanessaさん 北谷LC訪問

【冬季来日生 Lim Yi Kai マレーシア ホストCL 種子島LC】



歓迎会でフラダンスを舞った人と



種子島高校生徒会メンバーと



着物きれい！(成人式見学)

【冬季来日生 Wong Sher Yi マレーシア ホストCL 指宿LC】



ホストファミリーと唐船峡にて



お正月 着物で変身



釜蓋神社にて鍋蓋乗せ競争

【冬季来日生 Vanessa Eu Li Teng マレーシア ホストCL 北谷LC、沖縄LC】



北谷第二小学校の子供達との交流



歓迎会 北谷のホストファミリーと



旅行(京都) 沖縄LCのホストファミリーと



【冬季派遣生 黒木 将汰 派遣先 イタリア ホストCL 鹿児島南LC】



他の派遣生とライオンズクラブの会合に出席



ホストファミリーとオペラ鑑賞



シチリア島のアグリジェントにて



シチリア島の博物館にて



ミラノのホストファミリーと共に

今回イタリアに約三週間ホームステイすることで多くのことを経験することが出来て、ライオンズクラブには感謝の気持ちでいっぱいです。初めての海外生活ということで期待よりも不安の方が大きかったのですが、ホームステイ先の家族を始め多くのライオンズクラブ関係者の助けにより素晴らしい思い出を作ることが出来ました。

一つ目のホームステイ先ではパレルモをはじめアグリジェントやカタニーヤなど普通の旅行じゃあまり日本人が行くことのないシチリア島に滞在し、豊かな自然が多くまた人々の陽気さにとても楽しい毎日を過ごすことが出来ました。料理もとてもおいしく様々な郷土料理を口にしました。

二つ目のホームステイ先では有名観光地であるミラノ・ヴェネツィア・ヴェローナなどを訪れました。ミラノではレオナルド・ダ・ヴィンチの名作「最後の晩餐」やサッカー日本代表の長友が所属するインテルの試合を観戦したりと、貴重な体験をすることが出来ました。ヴェネツィアでは水上で生活する人々の暮らしを肌で感じる事が出来、ヴェローナではロミオとジュリエットのモデルとなったジュリエットの家に行くことが出来ました。

また今回クリスマスと年越しもイタリアで過ごしましたが、家族を大切にするイタリア人はクリスマスも年越しも親戚中が集まってパーティーを開きとても楽しい食事会でした。

多くの歴史的建造物や観光地に行くことができ様々な異文化に触れることで多くのことを学ぶことが出来ましたが、今回のホームステイで僕が一番勉強になったことは人を愛することです。

内気な民族である日本人は自分の感情を人に伝えるという行為に恥じることが多いですが、イタリア人は自分の気持ちをストレートに伝えていました。ストレスの貯まりやすい原因はここにあるのではないのでしょうか？またイタリア人に「私たちイタリア人は日本人に比べて優秀ではないが、毎日楽しみながら生きている。日本人は生きていて楽しいか？」と言われたときはすごく衝撃を受けました。私たちは特に意識していませんが、外国の人々からはそのように見えているのだと思うととても残念でした。

話が逸れましたが、今回のホームステイで一回りも二回りも成長できたと思います。

今回このような機会を設けてもらったことにとても感謝しています。ありがとうございました。



【2011～'12年度 レオ・ライオネスクラブ活動報告】

クラブ名	活動状況
さくらじまレオクラブ	・学園下堤防の清掃(7月) ・夕涼み会のための清掃及び準備作業(8月) ・海岸のごみ拾い(9月) ・鹿児島LCとの合同献血活動(12月) ・鹿児島地区対抗女子駅伝応援(1月) ・ランニング桜島の応援(2月)
種子島レオクラブ	・上級救命講習会参加(8月) ・フリーマーケット運営ボランティア(9月) ・交通安全広告塔除幕式・街頭PR(10月) ・へき地離島周辺産期医療フォーラムちびっこお預かり(11月) ・新教育長立石先生表敬訪問(11月) ・熊毛地区ジュニアリーダー研究大会参加(12月) ・YCE派遣生交流 ・学生との交換・種子島国際友好協会クリスマスパーティ(12月) ・歳末たすけあい街頭募金活動(12月) ・西之表市消防出発式プラカード保持市中行進参加(1月) ・榕城校区新春駅伝運営ボランティア参加(1月) ・種子島鉄砲祭り参加(8月) ・上級救命講習会参加(9月)
久木田学園レオクラブ	・特別養護老人ホーム寿康園 夏祭り補助(販売補助、駐車場整理など)(7月) ・施設訪問活動 マッサージやレクリエーションを楽しんでもらう(8月) ・特別養護老人ホーム寿康園、特別養護老人ホーム潮風園 ・全国専門学校バレーボール大会にて、本レオクラブメンバーで構成する久木田学園看護専門学校バレーボール部が全国優勝の成績を収めた(8月) ・甲突川河畔(高見橋～武之橋)清掃活動(11月)・鹿児島市内ライオンズクラブ ・年末合同献血活動に参加(12月)
川内レオクラブ	・鹿児島明倫LCとライオンズ公園の清掃(7月) ・知的障がいをもっている方々とのサッカー交流(7月) ・川内LC納涼例会出席(8月) ・YCE派遣(マレーシア1名)(8月) ・YCE帰国報告会(9月) ・海岸清掃活動(9月) ・知的障がいをもっている方々とのペットボトルボーリング交流(9月) ・野間島公園清掃・ゴミ拾い(10月) ・日曜学級で自閉症の方々と触れ合った(11月) ・つくし園の障がい児の方との交流(11月) ・鹿児島明倫LCとライオンズ公園の清掃(11月) ・日曜学級で自閉症の方々と触れ合い(12月、1月) ・鹿児島明倫LCとライオンズ公園の清掃(1月) ・日曜学級で自閉症の方々と触れ合った(2月)
慈恵学園レオクラブ	・招魂墓清掃作業 親クラブと合同作業(7月) ・招魂墓清掃作業 お盆前の清掃作業(8月) ・学園近辺の空き缶収集活動(10月) ・特別養護老人ホームグランベリテ樋脇の清掃作業(11月)

久木田学園レオC



施設訪問活動(8月)



年末合同献血活動(12月)

慈恵学園レオC



招魂墓清掃作業(7.8月)



クラブ名	活動状況
国分隼人レオクラブ	- ライオンズクラブ旗杯争奪幼児サッカー大会にて合いの献血を実施 第一幼児教育短期大学レオクラブと合同で献血の呼びかけを行った(7月) - 国分隼人LC50周年に参加し、受付や誘導係などの手伝いをした(8月) - 霧島市霧島社会福祉協議会の方々と、独居老人慰問を実施 雑巾・はたき・手作り人形等を作成しプレゼントした(10月) 10月に訪問出来なかった独居老人宅を訪問。雑巾・はたき・ちりとり等を手作りしプレゼントした。(11月) - 施設訪問クリスマス会へ参加。一人2品以上の手作りを持ちよりプレゼントした(12月)
第一幼児短期大学レオクラブ	- ライオンズクラブ旗杯争奪幼児サッカー大会にて合いの献血を実施 国分隼人レオクラブと合同で献血の呼びかけを行った(7月) - 霧島市育児相談会の手伝いに参加(7月) - 国分隼人LC50周年に参加し、受付や誘導係などの手伝いをした(8月) - 市主催のボランティア(幼児と遊ぼう)に参加し、手作り折り紙・本を持参し遊んだ(10月) - 霧島市文化祭に託児所開設につき、幼児教育の一環として参加(11月) - 全国同和教育研究大会へ参加(11月) - 幼児施設クリスマス会実施。おもちゃ・お菓子などの袋詰めをした。(12月)
鹿屋レオクラブ	- 薬物乱用防止キャンペーンで、市内スーパー街頭での声かけを実施(7月) - 新樹学園夏祭りボランティア(7月) - 本校清掃ボランティア(7月) - 国立療養所菊池恵堀園訪問(8月) - レオクラブ会員(郷原さん)九州農業クラブ大会意見発表の部優秀賞受賞(10月) - 新樹学園運動会、介助協力奉仕に参加(11月) - われら地球人 We are the world 奉仕活動参加(11月) - 鹿屋LC主催小学校区対抗「かのやローズヒル駅伝大会」手伝い(11月) - 昨年度の歳末助け合い募金が表彰された(11月) - 歳末助け合い街頭募金運動(12月) - 農業クラブ清掃奉仕 - 歳末助け合い募金(38,389円)を鹿屋市社会福祉協議会へ寄付(1月)
フライングレオクラブ	- 献血活動に参加。9:00～17:00まで呼びかけを行う(9月) - 歳末助け合い募金運動を行い(10:00～15:00)、136,248円の義援金が集まりました(12月) - 献血活動に参加。9:30～15:00まで呼びかけを行う。(12月)
鹿屋ライオネス	- 鹿屋LC献血奉仕活動に参加(8月) - ハーモニーガーデン奉仕にて日本舞踊・太極拳・フラダンス - 歌の披露(9月)・風の音の像と周辺の清掃活動を行う(9月) - グランドゴルフ大会(10月)・鹿屋LC45周年式典協力(11月) - 鹿屋LC主催献血奉仕協力(8:00～16:00)(2月)

【レオクラブ及びライオネスクラブへのお願い】

今回の編集にあたり掲載する写真がほとんど有りませんでした。
皆さんの活動をアピールする為にも、今後は、月例の活動報告に活動時の写真を2～3枚添付して戴きます様お願い申し上げます。

～編集後記～

大変お待たせいたしました。337-D地区ガバナーズレター「ザ・ラタ」Vol. 3を皆様にお届けいたします。

今回は、YCE及びレオ・ライオネスクラブ活動報告を中心に編集させていただきました。

編集にあたり、YCE派遣生の報告文や活動写真等の一部に付きましては、掲載上の都合により一部割愛させて頂きました。あしからずご了承下さい。

情報収集に当っては、YCE委員会、ホストクラブ等関係者及び、キャビネット事務局の皆様には多大なご協力を戴き厚く御礼申し上げます。

各クラブの皆さんが、この冊子をご覧いただき、YCE活動やレオ・ライオネスクラブの活動へのご理解を深めていただき、今後支援活動に生かしていただければ幸いに思います。

最後に、掲載に当ってのご意見ご希望等がございましたら、キャビネット事務局までお知らせ下さい。

地区PR・ACT・IT委員長
森 山 憲 彦



We Serve

ライオンズクラブ国際協会337-D地区
キャビネット事務局

〒900-0032 沖縄県那覇市松山2-1-12 玉キ米屋ビル408

TEL 098-864-1640 FAX 098-864-1192

E-mail: lion003r@estate.Ocn.ne.jp

発行:地区ガバナー L. 識名安信

編集:地区PR・ACT・IT・委員会